

編集後記

『身延山資料叢書』第九巻を担当されたのは身延山大学国際日蓮学研究所顧問 中尾堯博士（立正大学名誉教授）である。本書に収録した『和語雑抄』は、山梨県南巨摩郡身延町の身延山久遠寺内にある身延文庫に所蔵されており、特に本書の概観と内容については令和三年十月に刊行した本研究所の機関誌である『日蓮学』第五号収録の、中尾堯稿「身延文庫所蔵 日重著『和語雑抄』の書誌と概要」に詳述されているので、あわせてご覧いただきたい。

『和語雑抄』は、中尾博士の「序文」にも記されているが、身延山久遠寺第二十世・京都本満寺第十二世である一如院日重が筆記した歌論集であり、ほぼ同時期に日重が著した『見聞愚案記』が刊行され世に流布したのに対して、『和語雑抄』は刊行の意図は窺えるものの実現はされなかったという、言うなれば日重の「幻の著書」である。今回、乱丁など激しい『和語雑抄』原本を中尾博士の尽力により翻刻することができたことは、日重研究に新たな視点を与えるものと確信している。

末筆ではあるが、本書を収録刊行するに当たっては、所蔵者である身延山久遠寺御当局のご理解とご許可を賜った。また身延文庫及び宝物館の関係各位には、原本の調査に特別のご高配を頂いた。記して感謝申し上げます。

【木村中一 記】